



2019年12月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2019年10月31日

上場会社名 ナブテスコ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6268 URL http://www.nabtesco.com
 代表者（役職名） 代表取締役（氏名） 寺本 克弘
 問合せ先責任者（役職名） コーポレート・コミュニケーション部長（氏名） 黒須 昭仁（TEL）03-5213-1134
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有（電話会議、機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満四捨五入）

1. 2019年12月期第3四半期の連結業績（2019年1月1日～2019年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第3四半期	211,428	0.3	18,378	45.8	19,593	△3.2	13,685	△6.2	12,254	△7.5	11,703	△20.5
2018年12月期第3四半期	210,843	4.0	12,605	△41.7	20,234	△22.5	14,593	△26.2	13,253	△29.5	14,727	△33.0
	基本的1株当たり 四半期利益				希薄化後1株当たり 四半期利益							
			円 銭				円 銭					
2019年12月期第3四半期			98.76				98.71					
2018年12月期第3四半期			106.92				106.81					

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2019年12月期第3四半期	339,475	191,333	180,463	53.2
2018年12月期	328,568	189,255	178,702	54.4

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	36.00	—	37.00	73.00
2019年12月期	—	36.00	—	—	—
2019年12月期(予想)	—	—	—	37.00	73.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年12月期の連結業績予想（2019年1月1日～2019年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	288,500	△2.1	24,100	10.1	25,300	△15.6	16,800	△20.1	135.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 0社 (社名) 、 除外 0社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2019年12月期3Q	125,133,799株	2018年12月期	125,133,799株
② 期末自己株式数	2019年12月期3Q	1,013,084株	2018年12月期	1,154,403株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2019年12月期3Q	124,082,540株	2018年12月期3Q	123,954,752株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明	5
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	6
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	8
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	10
(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
3. 補足情報	14
(1) セグメント別受注残高	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、国内での自動ドア事業が好調に推移した一方、長引く米中貿易摩擦による設備投資の低迷により精密減速機の需要が減少したことに加え、東南アジア市場での建設機械需要の低迷により、売上高は211,428百万円、営業利益は18,378百万円、税引前四半期利益は19,593百万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は12,254百万円となりました。

① 受注高、売上高、営業利益

当第3四半期連結累計期間の受注高は、前年同期比4,396百万円(△2.0%)減少し219,477百万円となりました。売上高は、前年同期比585百万円(0.3%)増加し211,428百万円となり、営業利益は、前年同期比5,773百万円(45.8%)増加し18,378百万円となりました。売上高営業利益率は8.7%となりました。

セグメント別概況は次のとおりです。

【受注高】

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年9月30日)	当第3四半期 連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年9月30日)	増減率(%)
コンポーネントソリューション事業	87,610	84,202	△3.9
トランスポートソリューション事業	66,296	62,866	△5.2
アクセシビリティソリューション事業	56,524	59,039	4.4
その他	13,444	13,370	△0.5
合計	223,873	219,477	△2.0

【売上高】

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年9月30日)	当第3四半期 連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年9月30日)	増減率(%)
コンポーネントソリューション事業	87,746	81,084	△7.6
トランスポートソリューション事業	56,926	60,600	6.5
アクセシビリティソリューション事業	53,803	57,519	6.9
その他	12,369	12,226	△1.2
合計	210,843	211,428	0.3

【営業利益又は損失】

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年9月30日)	当第3四半期 連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年9月30日)	増減率(%)
コンポーネントソリューション事業	15,101	11,716	△22.4
トランスポートソリューション事業	△1,374	5,033	—
アクセシビリティソリューション事業	2,734	5,541	102.7
その他	1,776	1,484	△16.4
全社または消去	△5,632	△5,396	—
合計	12,605	18,378	45.8

【コンポーネントソリューション事業】

コンポーネントソリューション事業の受注高は、前年同期比3,407百万円(△3.9%)減少し84,202百万円となりました。売上高は、同6,662百万円(△7.6%)減少し81,084百万円、営業利益は、同3,385百万円(△22.4%)減少し11,716百万円となりました。

精密減速機は、長引く米中貿易摩擦による設備投資の低迷により需要が減少し、売上高は前年同期比減収となりました。油圧機器は、東南アジア市場での需要の落込みにより、売上高は前年同期比減収となりました。

【トランスポートソリューション事業】

トランスポートソリューション事業の受注高は、前年同期比3,430百万円(△5.2%)減少し62,866百万円となりました。売上高は、同3,674百万円(6.5%)増加し60,600百万円、営業利益は、連結子会社OVALO GmbHに係るのれんの減損損失5,248百万円が無くなったこと等により、同6,407百万円増加し5,033百万円となりました。

鉄道車両用機器は、中国地下鉄向けが堅調に推移し、売上高は前年同期比横ばいとなりました。

航空機器は、民間航空機向けの増産により、売上高は前年同期比増収となりました。

商用車用機器は、堅調な国内市場により、東南アジア市場の落ち込みをカバーし、売上高は前年同期比横ばいとなりました。

船用機器は、市況の緩やかな回復傾向が継続し、売上高は前年同期比増収となりました。

【アクセシビリティソリューション事業】

アクセシビリティソリューション事業の受注高は、前年同期比2,515百万円(4.4%)増加し59,039百万円となりました。売上高は、同3,716百万円(6.9%)増加し57,519百万円、営業利益は、同2,807百万円(102.7%)増加し5,541百万円となりました。

自動ドア事業は、好調な国内需要により、売上高は前年同期比増収となりました。

【その他】

その他の受注高は、前年同期比74百万円(△0.5%)減少し13,370百万円となりました。売上高は、同143百万円(△1.2%)減少し12,226百万円、営業利益は、同292百万円(△16.4%)減少し1,484百万円となりました。

包装機は、国内の堅調な需要により、売上高は前年同期比横ばいとなりました。

(参考) 地域ごとの情報

【売上高】

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年9月30日)	当第3四半期 連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年9月30日)	増減率(%)
日本	115,676	120,213	3.9
中国	34,333	32,939	△4.1
その他アジア	15,212	11,711	△23.0
北米	14,588	16,173	10.9
ヨーロッパ	30,116	29,022	△3.6
その他地域	918	1,370	49.3
合計	210,843	211,428	0.3

(注)売上高は、顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しています。

② 税引前四半期利益

金融収益は471百万円、金融費用は、主に為替差損の発生により1,385百万円となりました。持分法による投資利益は、前年において持分適用関連会社を実施した新株発行等により純資産額が著しく増加したことによる利益が、当第3四半期連結累計期間では発生しなかったこと等により、前年同期比5,725百万円(△72.9%)減少し2,129百万円となりました。営業利益にこれらの損益を加減した税引前四半期利益は19,593百万円と前年同期比641百万円(△3.2%)の減益となりました。

③ 親会社の所有者に帰属する四半期利益

以上の結果、法人所得税費用5,908百万円及び非支配持分に帰属する四半期利益1,431百万円を差引いた親会社の所有者に帰属する四半期利益は、12,254百万円と前年同期比999百万円(△7.5%)の減益となりました。

また、基本的1株当たり四半期利益は前年同期比8.16円減少し、98.76円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び資本の状況

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (2018年12月31日)	当第3四半期 連結会計期間末 (2019年9月30日)	増減額
資産	328,568	339,475	10,907
負債	139,313	148,142	8,830
資本	189,255	191,333	2,078

【資産】

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は175,989百万円、非流動資産は163,486百万円であり、その結果、資産合計は339,475百万円と前連結会計年度末比10,907百万円の増加となりました。主な増加要因は、IFRS第16号「リース」適用開始による使用権資産の増加8,996百万円です。

【負債】

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は112,122百万円、非流動負債は36,020百万円であり、その結果、負債合計は148,142百万円と前連結会計年度末比8,830百万円の増加となりました。主な増加要因は、IFRS第16号「リース」適用開始によるリース負債の増加8,434百万円です。

【資本】

当第3四半期連結会計期間末の資本合計は191,333百万円となりました。親会社の所有者に帰属する持分合計は180,463百万円と前連結会計年度末比1,761百万円の増加となりました。主な増加要因は、親会社の所有者に帰属する四半期利益12,254百万円に伴う利益剰余金の増加です。一方、主な減少要因は、配当による利益剰余金の減少9,074百万円です。

(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

2019年12月期第3四半期連結累計期間の連結業績及び今後の動向等を踏まえ、2019年2月8日に公表しました2019年12月期通期の業績予想を修正することとしました。

詳細につきましては、2019年10月31日発表の「2019年12月期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、2019年2月8日に公表しました連結業績予想との差異は以下のとおりです。

2019年12月期 連結業績予想数値の修正(2019年1月1日～2019年12月31日)

	売上高	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益	
	百万円	百万円	百万円	百万円	円	銭
前回発表予想(A)	313,000	30,000	33,600	22,900	184	74
今回修正予想(B)	288,500	24,100	25,300	16,800	135	39
増減額(B-A)	△24,500	△5,900	△8,300	△6,100	—	—
増減率(%)	△7.8	△19.7	△24.7	△26.6	—	—

(セグメント情報)

① 売上高

(単位：百万円)

	コンポーネント ソリューション	トランスポート ソリューション	アクセシビリティ ソリューション	その他	全社又は消去	計
前回発表予想(A)	125,800	89,600	77,400	20,200	—	313,000
今回修正予想(B)	106,900	83,900	78,300	19,400	—	288,500
増減額(B-A)	△18,900	△5,700	900	△800	—	△24,500
増減率(%)	△15.0	△6.4	1.2	△4.0	—	△7.8

② 営業利益

(単位：百万円)

	コンポーネント ソリューション	トランスポート ソリューション	アクセシビリティ ソリューション	その他	全社又は消去	計
前回発表予想(A)	21,600	8,100	6,500	2,700	△8,900	30,000
今回修正予想(B)	15,100	7,200	7,200	2,600	△8,000	24,100
増減額(B-A)	△6,500	△900	700	△100	900	△5,900
増減率(%)	△30.1	△11.1	10.8	△3.7	—	△19.7

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	注記 番号	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産			
流動資産			
現金及び現金同等物		54,039	60,014
営業債権		74,952	64,331
契約資産		1,650	1,726
その他の債権		1,643	654
棚卸資産		43,592	46,186
その他の金融資産		280	170
その他の流動資産		2,969	2,907
流動資産合計		179,124	175,989
非流動資産			
有形固定資産		80,573	85,455
無形資産		5,076	4,752
使用権資産		—	8,996
のれん		15,512	15,049
投資不動産		5,382	3,947
持分法で会計処理されている投資		29,641	31,427
その他の金融資産		9,558	10,429
繰延税金資産		2,012	2,314
その他の非流動資産		1,690	1,118
非流動資産合計		149,443	163,486
資産合計		328,568	339,475

(単位：百万円)

	注記 番号	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債及び資本			
負債			
流動負債			
営業債務		50,297	46,013
契約負債		5,232	6,225
社債及び借入金		34,067	34,547
その他の債務		11,809	11,203
未払法人所得税		3,479	1,720
引当金		1,625	1,328
リース負債		—	2,150
その他の金融負債		—	10
その他の流動負債		6,048	8,927
流動負債合計		112,558	112,122
非流動負債			
社債及び借入金		11,243	13,219
リース負債		—	6,285
退職給付に係る負債		9,142	9,297
繰延税金負債		4,881	5,312
その他の非流動負債		1,490	1,907
非流動負債合計		26,755	36,020
負債合計		139,313	148,142
資本			
資本金		10,000	10,000
資本剰余金		15,096	14,886
利益剰余金		155,133	158,306
自己株式		△2,903	△2,535
その他の資本の構成要素		1,377	△194
親会社の所有者に帰属する持分合計		178,702	180,463
非支配持分		10,553	10,870
資本合計		189,255	191,333
負債及び資本合計		328,568	339,475

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	注記 番号	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
売上高	2	210,843	211,428
売上原価		△153,940	△155,382
売上総利益		56,903	56,046
その他の収益		1,014	1,368
販売費及び一般管理費		△39,626	△38,506
その他の費用		△5,686	△530
営業利益	2	12,605	18,378
金融収益		542	471
金融費用		△767	△1,385
持分法による投資利益		7,854	2,129
税引前四半期利益		20,234	19,593
法人所得税費用		△5,641	△5,908
四半期利益		14,593	13,685
四半期利益の帰属 親会社の所有者		13,253	12,254
非支配持分		1,340	1,431
四半期利益		14,593	13,685
1株当たり四半期利益			
基本的1株当たり四半期利益(円)		106.92	98.76
希薄化後1株当たり四半期利益(円)		106.81	98.71

要約四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	注記 番号	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
四半期利益		14,593	13,685
その他の包括利益			
純損益に振り替えられることのない項目			
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産の純変動		182	265
持分法適用会社におけるその他の 包括利益に対する持分		973	420
純損益に振り替えられることのない 項目合計		1,155	685
純損益に振り替えられる可能性のある項目			
在外営業活動体の換算差額		△1,020	△2,667
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計		△1,020	△2,667
税引後その他の包括利益合計		135	△1,982
四半期包括利益合計		14,727	11,703
四半期包括利益の帰属			
親会社の所有者		13,726	10,712
非支配持分		1,001	991
四半期包括利益合計		14,727	11,703

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)

(単位：百万円)

	注記 番号	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
						在外営業活動体 の換算差額	公正価値の変動 による評価差額
2018年1月1日残高		10,000	14,956	143,349	△3,600	△773	3,604
四半期利益		—	—	13,253	—	—	—
その他の包括利益		—	—	—	—	△680	1,131
四半期包括利益合計		—	—	13,253	—	△680	1,131
自己株式の取得及び処分等		—	—	△30	201	—	—
配当金		—	—	△9,193	—	—	—
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替		—	—	23	—	—	—
株式報酬取引		—	137	—	—	—	—
その他		—	—	—	496	—	—
所有者との取引額等合計		—	137	△9,200	697	—	—
2018年9月30日残高		10,000	15,093	147,401	△2,902	△1,453	4,734

	注記 番号	その他の資本の構成要素		親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配 持分	資本合計
		確定給付負債 (資産)の純額の 再測定	合計			
2018年1月1日残高		—	2,831	167,537	9,465	177,002
四半期利益		—	—	13,253	1,340	14,593
その他の包括利益		23	473	473	△338	135
四半期包括利益合計		23	473	13,726	1,001	14,727
自己株式の取得及び処分等		—	—	171	—	171
配当金		—	—	△9,193	△326	△9,519
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替		△23	△23	—	—	—
株式報酬取引		—	—	137	—	137
その他		—	—	496	—	496
所有者との取引額等合計		△23	△23	△8,389	△326	△8,716
2018年9月30日残高		—	3,282	172,873	10,140	183,013

当第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

(単位：百万円)

	注記 番号	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
						在外営業活動体 の換算差額	公正価値の変動 による評価差額
2019年1月1日残高		10,000	15,096	155,133	△2,903	△2,887	4,264
四半期利益		—	—	12,254	—	—	—
その他の包括利益		—	—	—	—	△2,223	683
四半期包括利益合計		—	—	12,254	—	△2,223	683
自己株式の取得及び処分等		—	—	△35	368	—	—
配当金		—	—	△9,074	—	—	—
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替		—	—	29	—	—	△32
株式報酬取引		—	△209	—	—	—	—
所有者との取引額等合計		—	△209	△9,080	368	—	△32
2019年9月30日残高		10,000	14,886	158,306	△2,535	△5,110	4,915

	注記 番号	その他の資本の構成要素		親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配 持分	資本合計
		確定給付負債 (資産)の純額の 再測定	合計			
2019年1月1日残高		—	1,377	178,702	10,553	189,255
四半期利益		—	—	12,254	1,431	13,685
その他の包括利益		△3	△1,542	△1,542	△440	△1,982
四半期包括利益合計		△3	△1,542	10,712	991	11,703
自己株式の取得及び処分等		—	—	333	—	333
配当金		—	—	△9,074	△674	△9,748
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替		3	△29	—	—	—
株式報酬取引		—	—	△209	—	△209
所有者との取引額等合計		3	△29	△8,951	△674	△9,625
2019年9月30日残高		—	△194	180,463	10,870	191,333

(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

1. 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

2. 事業セグメント

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、ビジネスモデルの類似性に基づき、事業セグメントを集約した上で、「コンポーネントソリューション事業」、「トランスポートソリューション事業」、「アクセシビリティソリューション事業」の3報告セグメントに区分しています。

各報告セグメントの区分に属する主な事業内容は以下のとおりです。

事業区分	主な事業内容
コンポーネントソリューション事業	産業用ロボット部品、建設機械用機器等及びこれらの部品の設計、製造、販売、保守、修理
トランスポートソリューション事業	鉄道車両用ブレーキ装置・自動扉装置、航空機部品、自動車用ブレーキ装置・駆動制御装置、船用制御装置等及びこれらの部品の設計、製造、販売、保守、修理
アクセシビリティソリューション事業	建物及び一般産業用自動扉装置、プラットフォーム安全設備等及びこれらの部品の設計、製造、販売、据付、保守、修理

(2) 報告セグメントに関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額	要約四半期 連結損益 計算書計上額
	コンポー ネント	トランス ポート	アクセシ ビリティ	計				
売上高								
外部売上高	87,746	56,926	53,803	198,474	12,369	210,843	—	210,843
セグメント間売上高	1,802	401	6	2,209	210	2,419	△2,419	—
売上高合計	89,548	57,327	53,809	200,684	12,579	213,262	△2,419	210,843
セグメント利益又は損失 (営業利益又は損失)	15,101	△1,374	2,734	16,461	1,776	18,237	△5,632	12,605
金融収益				—				542
金融費用				—				△767
持分法による投資利益				—				7,854
税引前四半期利益				—				20,234

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、包装機械、立体モデル作成装置、工作機械等及びこれらの部品の設計、製造販売、保守、修理を行う事業で構成されています。

2 売上高の調整額は、セグメント間取引消去によるものです。

3 セグメント利益又は損失(営業利益又は損失)の調整額は、各セグメントに配賦されない全社損益等です。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額	要約四半期 連結損益 計算書計上額
	コンポー ネント	トランス ポート	アクセシ ビリティ	計				
売上高								
外部売上高	81,084	60,600	57,519	199,203	12,226	211,428	—	211,428
セグメント間売上高	2,007	695	4	2,706	217	2,923	△2,923	—
売上高合計	83,091	61,295	57,523	201,909	12,442	214,351	△2,923	211,428
セグメント利益 (営業利益)	11,716	5,033	5,541	22,290	1,484	23,774	△5,396	18,378
金融収益				—				471
金融費用				—				△1,385
持分法による投資利益				—				2,129
税引前四半期利益				—				19,593

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、包装機械、立体モデル作成装置、工作機械等及びこれらの部品の設計、製造販売、保守、修理を行う事業で構成されています。

2 売上高の調整額は、セグメント間取引消去によるものです。

3 セグメント利益(営業利益)の調整額は、各セグメントに配賦されない全社損益等です。

3. 補足情報

(1) セグメント別受注残高

セグメントの名称	前第3四半期連結会計期間末 (2018年9月30日)		当第3四半期連結会計期間末 (2019年9月30日)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
コンポーネントソリューション事業	28,444	21.5	27,135	21.3
トランスポートソリューション事業	60,454	45.7	58,276	45.7
アクセシビリティソリューション事業	34,529	26.1	32,278	25.3
その他	8,950	6.7	9,908	7.7
合計	132,377	100.0	127,597	100.0